

11月の図書館イベント

中央図書館映画上映会(入場無料)

『ワイルドライフ』

～アリュージョンマジック 驚異!海の生きもの大集結～

<上映時間:50分>

●日時 11日(金) 開場18:30 上映19:00～

●場所 穂高交流学习センター「みらい」

多目的交流ホール

ドキドキ・ワクワクおはなし会

中央図書館

おはなしのとびら おはなしのへや

2・9・16・30日(各水曜日)

10:30～(乳幼児以上対象)

おはなしとしゃかん おはなしのへや

19日(土) 10:30～(乳幼児以上対象)

豊科図書館

ちいさいたんぼぼ 多目的室

25日(金) 11:00～(乳幼児対象)

おはなしたんぼぼ 多目的室

25日(金) 16:30～(幼児以上対象)

三郷図書館

ポケットの会 三郷文化公園体育館1階会議室

12日(土) 10:30～(乳幼児以上対象)

堀金図書館

おはなしのへや 絵本コーナー

15日(火) 10:30～(乳幼児以上対象)

16:30～(幼児以上対象)

おりがみのへや 絵本コーナー

23日(水) 16:30～

明科図書館

ひまわりおはなし会 おはなしの部屋

19日(土) 11:00～(乳幼児以上対象)

図書館の催し テーマは「本と親しむ 秋」秋の読書週間企画

中央図書館
TEL 84・0111 FAX 84・0116

市内5館の図書館(中央・豊科・三郷・堀金・明科)では、秋の読書週間に合わせ、皆さんの本と出会える企画を用意しました。

①たくさん本を読んでプレゼントをもらおう!

読書週間に、目標冊数をクリアすると図書館からプレゼントがもらえます。「読書通帳」へ期間中に読んだ本(マンガを除く)を記入して、図書館のカウンターへお持ちください。まだ「読書通帳」を持っていない人も、この機会にぜひ作ってください。

●目標 ▽小学生以下 10冊
▽一般(中学生以上) 5冊

●実施期間 10月27日(木)～11月9日(水)

●プレゼント引き換え期間 11月30日(水)まで

②「いちばん心に残った本・だれかにおすすめしたい本」の展示
「読書通帳」で100冊達成した人が書いた「いちばん心に残った本・だれかにおすすめしたい本」を市内各図書館へ展示します。新

第4回明科図書館ひまわり講座 クラフトバンドでかご作り

明科図書館
TEL 62・1122 FAX 62・1124

クラフトバンドを使って、かわいいかごを作ってみませんか。

●日時 11月9日(水) 午前10時～正午

●場所 明科子どもと大人の交流学习施設「ひまわり」2階講義室

●対象 一般

●講師 クラフトボランティアの皆さん

●材料費 500円

●定員 15人(先着順)

●持ち物 洗濯バサミ(V字型10個)、手拭き

●申し込み 10月25日(火)から

たな本との出会いになるよう、ぜひご覧ください。

●展示期間 10月27日(木)～11月30日(水)

③松本山雅FC

「秋の読書週間」2016」

期間中、本を借りた人に、松本山雅FC所属選手がプリントされた「松本山雅FC特製しおり」をプレゼントします。

●期間 10月22日(土)～11月6日(日)



中央図書館「絵本で広がる世界」読み聞かせの基本と選書」参加者募集

中央図書館
TEL 84・0111 FAX 84・0116

おはなし会での読み聞かせの本が楽しく身に付きます。

●日時 11月3日(木) 午前10時～正午

●場所 穂高交流学习センター「みらい」多目的交流ホール

●対象 おはなし会に興味のある人

11月2日(水)までに、明科図書館窓口または電話で申し込みください。(受付時間は、午前10時～午後6時)

豊科図書館 芥川賞作家 磯崎憲一郎さん講演会

豊科図書館
TEL 71・4022 FAX 73・1801

「終の住処」などで多くの賞を受賞した磯崎憲一郎さんの講演会を開催します。

●日時 12月3日(土) 午後1時30分(開場は午後1時)

●場所 豊科交流学习センター「さぼう」多目的ホール

●講師 磯崎憲一郎さん(東京工業大学大学院教授)

●演題 小説とは何か?

●対象 一般市民

●講師 豊嶋さおりさん(JPIC読書アドバイザー・おはなしの会すがのつくる代表)

●参加費 無料

●定員 20人(先着順)

●申し込み 10月25日(火)から、中央図書館窓口か、電話で申し込みください。(受付時間は、午前9時～午後5時)

三郷図書館 大人も楽しむ名作児童文学「絵本作家いせひでこさんがえがくのちの世界」

三郷図書館
TEL 76・3078

幅広い年代から支持されているいせひでこさんの魅力を学びます。

●日時 11月10日(木) 午前10時～正午

●場所 三郷文化公園体育館健康相談室

●対象 一般市民

●講師 酒井倫子さん(絵本美術館「森のおうち」館長)

●定員 20人(先着順)

●参加費 無料

●申し込み 10月25日(火) 午前10時から三郷図書館窓口、または電話で申し込みください(受付時間は午前10時～午後6時)

●定員 180人(全席指定)

●入場料 無料

●申し込み 11月1日(火)～15日(火)の間に、各図書館備え付けの申し込み用紙、もしくは、はがき等に郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入し、図書館窓口へ持参、または郵送かファクスで申し込みください。同伴2人まで申し込みが可能です。申込書はホームページからも入手できます。電話での申し込みはできません。

●その他 応募多数の場合は抽選。当選者には11月下旬までに入場券を送付します。

●送付先 〒399・8205 豊科5609・3 豊科図書館講演会係

再発見!安曇野の文化 その55

文化課文化財保護係
TEL 71・2464 FAX 71・2338

実物教育への熱意 ～長野県地学標本～

まだ鉄道もあまり整備されていなかった明治時代に、熱い思いを胸に長野県を駆け回った人物がいました。保科五無斎は、現在の立科町に生まれ、教育に力を尽くしました。明治36年、保科は県内で採取した岩石など243種の標本を整理し、県内外の学校103校に寄贈しました。1つの標本の大きさはおよそ5センチですが、243種103校分となると、重量は3トンを超えると考えられます。中には北アルプスの高山で採集されたものもあり、多大な労力が伝わってきます。

現在市内には、その後明治42年に作成されたものを含め保科の標本が4校分現存しています。残念ながら市内で採取された標本はありませんが、その偉業を完遂させたのは、子どもたちに実物に触れて学んでほしいという保科の熱意でした。



おすすめの1冊 沈まぬ太陽

山崎豊子/著



紹介する人 岡村康司さん (豊科・南穂高)

世の中には、自分の立場や地位が不当に追い込まれても信念を貫き通す人もいれば、一方で時代の空気を読み、時には他人を踏み台にしても富や地位を手に入れる人もいます。この物語は、労働組合の委員長を務めた主人公が、会社から受けた懲罰人事や、大事故を起こした航空会社の職員として遺族との交渉にも真摯に向き合い、また後に会長室に招へいされ、会社の小さな経営体質に立ち向かう姿等が仔細に描かれています。

山崎先生の作品は、膨大かつ困難な取材をベースに戦争や社会問題を扱った大作が多く、日本人が歩んできた歴史を直視し、私たちが今後どの様に生き抜くべきなのか考えさせられる作品ばかりで、多くの作品が映画化やドラマ化されています。これからの時代を担う若い人達にぜひオススメです。